

## クロス表を極める

日時： 2020年3月3日（火） 10:30～17:00

場所： 東京大学（本郷キャンパス）赤門総合研究棟5階・センター会議室（549号室）

料金： 一般 5,000円、学生 2,500円

講師： 三輪哲（東京大学）

定員： 25名

### ■本コースの内容

クロス表は、社会調査データ分析のまさに基本というべき手法です。集計が簡単で、結果の見方も易しいので、学術のみならず、ビジネスや報道でも多用されています。多くの方が、習ったことがあったり、使ったことがあったりするのではないかと、思います。

ただ、皆さんは、クロス表を十分使いこなしていますでしょうか？パーセントを出して、 $\chi^2$ 検定をするだけ、などといった使い方にとどまてはいないでしょうか？実のところ、クロス表からはもっと様々な情報が得られますし、より高度な分析法を適用することもできるのです。また、既発表文献にクロス表がついていれば、その度数をデータとして直ちに二次分析ができるのも、クロス表の好ましい特徴です。

本コースでは、クロス表の基礎の基礎からはじめ、ログリニアモデルへの拡張、クロス表からのロジットモデル、などの内容を扱います。用いるデータの形式はすべてクロス表です。これら一連の内容をマスターすると、データ操作が容易なわりに、豊富で詳細な情報を得ることができるようになり、自身の研究に役立てられることと思います。

### ■次のような方におすすめです

- ・これまでクロス表を何となく使ってきたが、もっと詳しく知りたい
- ・クロス表だけで、査読付き学術誌でも通用するような分析結果を出してみたい
- ・報告書などについている集計表を、有効活用したい

### ■注意事項

- ・SSJデータアーカイブのデータを利用するため、大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、SSJデータアーカイブへとデータを寄託されている民間研究機関の方のみを対象とします。
- ・本コースは、クロス表に特化したコースです。量的変数を用いる分析法（相関・回帰分析など）には一切触れませんので、あらかじめご承知おきください。ただし、クロス表自体を初めて学ぶ方でも、コースの趣旨を理解してくださるなら、参加を歓迎いたします。
- ・STATAがインストールされていないノートパソコンをご持参の方は、講義開始前にインストールを行いますので、10時00分までに会場にお越しください。インストール済みの場合は講義開始時間の10:30までにお越しください結構です。

## ■本コースの日程

度数分布とクロス表／観測度数と期待度数／ピアソン  $\chi^2$  統計量と尤度比  $\chi^2$  統計量／  
さまざまな連関係数／セル残差の検討／ログリニア分析入門／デザイン行列の利用／  
アソシエーションモデル／多元表への拡張／クロス表からのロジットモデル